

9月



美園小だより

平成 27年 9月 1日
さいたま市立美園小学校
第49号 児童数 1,042名
Tel 048(812)6611
Fax 048(878)6660

学校教育目標 **笑顔かがやく きれいな学校** URL <http://misono-e.saitama-city.ed.jp/>

“よい学校”のバロメーター

校長 榎山 正春

夏休みが終わりました。

学校を預かる立場にある校長は、日本全国北は北海道から南は沖縄まで、誰もが携帯電話を持ち、万が一の時には直ちに連絡がつくように備えているはず、そしてその携帯電話が沈黙したままであってほしいという願いもっているはずです。そんな願いとは裏腹に、残念ながら今年も全国のあちこちで小・中学生の生命に関わる悲惨な事件・事故がいくつも起きてしまいました。犠牲となった子どもたち、そして関係の方々の心情は如何ばかりかと考えずにはられません。お悔やみ申し上げます。

そういう中であって、幸いなことに私の携帯電話は今夏もまた静かでした。これが「偶然何も起きなかった」のではなく、「何も起こらないのが当然」と言えるように、たとえ何かあったとしても被害が最小限で済むように、過去の事例をきちんと検証し、教訓にしていかなければいけないと思います。



さて、気象庁によると今年さいたま市で記録された最高気温は37.6℃、最高気温35℃以上の猛暑日は15回を数えたそうです。この暑さはまさに“熱帯”、ことによると“熱帯以上”だったかもしれません。最早「温暖化」などという穏やかな言い方で済むレベルではないと思いますし、「異常気象」も毎年のことともなれば表現を変えるべきではないか、そんな気もしてきます。



もう20年ほど前になりますが、“本物の熱帯”にある学校を訪ねたことがあります。シンガポールのような近代都市の学校ではありません。校舎は高床式の木造平屋建て、教室にエアコンなどはもちろんありません。敷地とその外側との境界ははっきりせず、校庭をまっすぐ進んでいくとそこはそのままジャングルです。通ってくる子どもたちの居住エリアは広く、通学バスや通学ポート (!!) もあるのですが、お金がかかるので徒歩通学の子どもの相当数いると聞きました。その所要時間、片道1時間は当たり前、中には2時間かかる子どももいるとのこと。しかし、欠席する子どもはほとんどおらず、毎日嬉々として通ってくるのだそうです。

それはどうしてでしょうか。「家にいたらきつい仕事をさせられるから」「学問を身に付けることが将来の栄達につながるから」等々、いろいろなことが考えられますが、その学校の先生方は「子どもたちにとって学校が楽しいところだから」とおっしゃっていました。



「欠席の多寡は、よい学校かどうかを示す一つのバロメーター」という言葉を聞いたことがあります。実際の児童の欠席理由の多くは病気やケガなどであるとは言え、子どもたちが「来てよかった」「明日もまた来よう」と思う学校がよい学校でないはずがありません。その意味でこの言葉にはある程度の妥当性があります。

右の表は、1学期に欠席0だった児童の人数とその割合をまとめたものです。2学期はこの数字が少しでも増えればよいなと思います。

保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしく願います。

学年	1学期欠席0だった児童の人数とその割合
1年生	125人 (57.1%)
2年生	125人 (61.3%)
3年生	126人 (64.9%)
4年生	105人 (66.5%)
5年生	91人 (67.4%)
6年生	79人 (73.8%)
にじいろ	7人 (35.0%)
全校合計	658人 (63.5%)